

庭のヤブツバキ

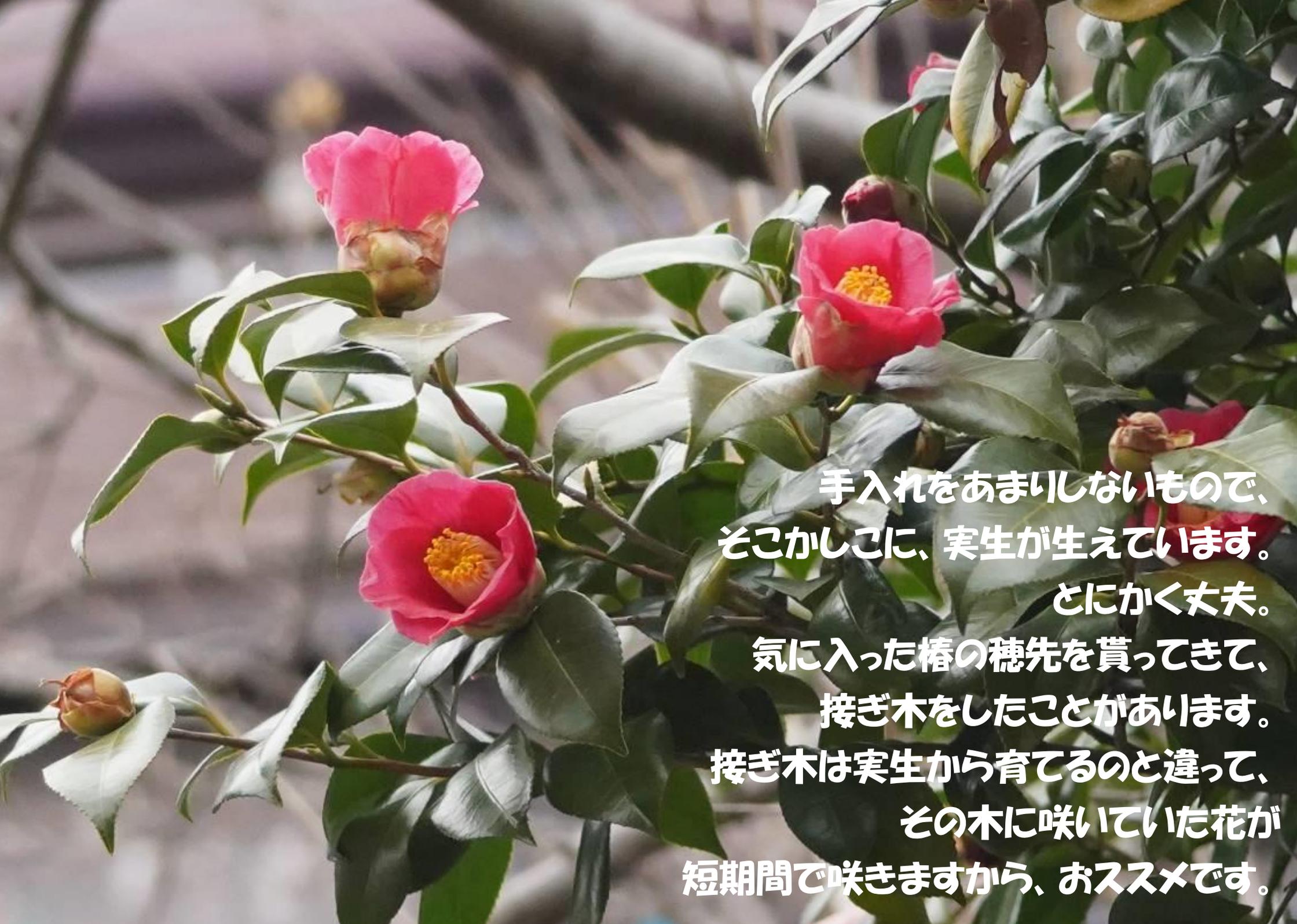
2023. 2. 16

島田祥生

我が家の庭に、一本のヤブツバキがあります。
20年ほど前に、向かいの大邸宅の門前にあった
大木のひこばえを頂戴し、挿し木で育てたものです。
今年は、いつになくたくさんの花を付けました。
まだ大木とは言えませんが、なかなか見ごたえがあります。



ヤブツバキというと
伊豆の大島が有名ですね。
あんこ~~~~つばきは~~~~
その種から椿油を採る。
その油でてんぷらを揚げると
ものすごく美味しいそうです。
でも、高価。贅沢ですね。
刃物の防錆油としても
広く使われています。



手入れをあまりしないもので、
そこかしこに、実生が生えています。
とにかく丈夫。
気に入った椿の穂先を貰ってきて、
接ぎ木をしたことがあります。
接ぎ木は実生から育てるのと違って、
その木に咲いていた花が
短期間で咲きますから、おススメです。

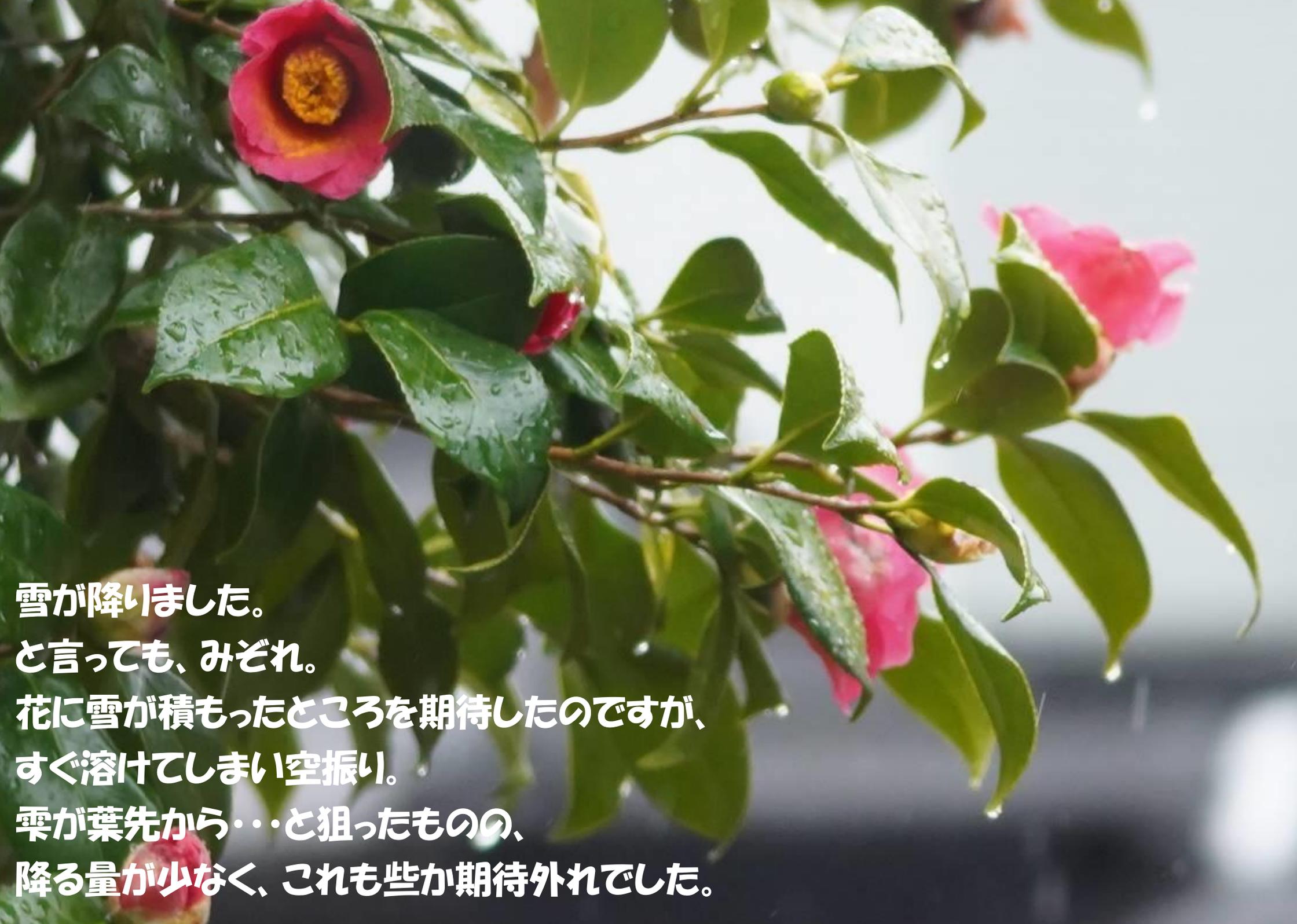


花の「一生」

椿は、花ごと「ボトリ」と落ちるので
武士の家では忌み嫌われていたとか。

このあと、種が育ち、熟して地面に落ち
翌年芽が出てすくすくと。

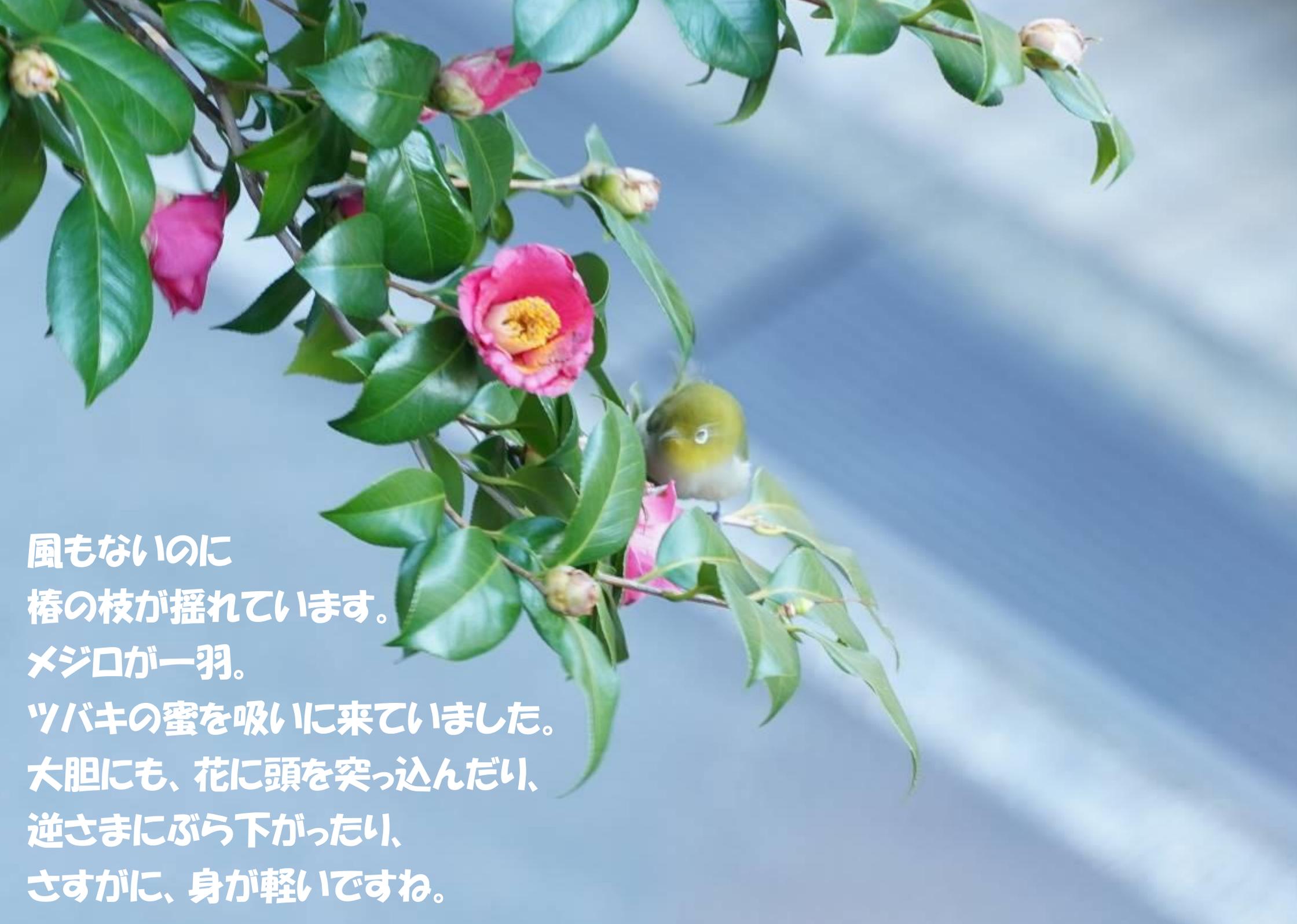
根は、真直ぐに地面深く伸びていきます。



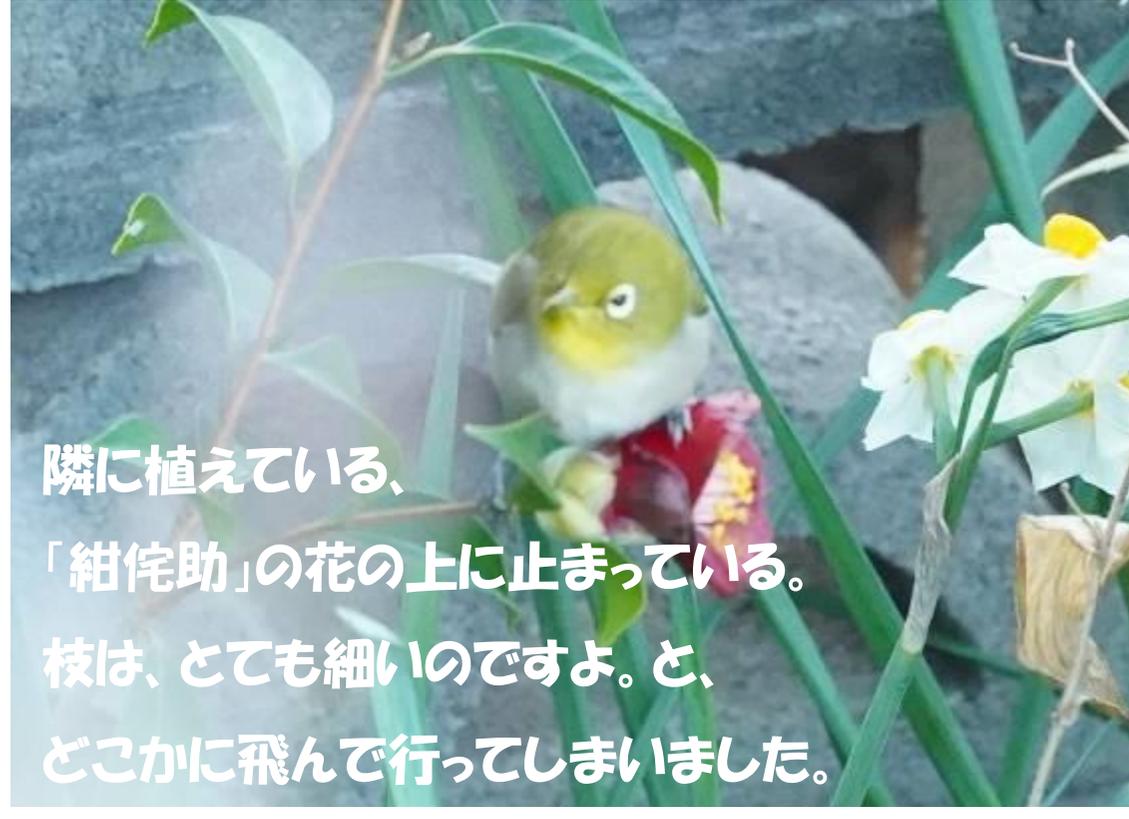
雪が降りました。
と言っても、みぞれ。
花に雪が積もったところを期待したのですが、
すぐ溶けてしまい空振り。
雫が葉先から・・・と狙ったものの、
降る量が少なく、これも些か期待外れでした。



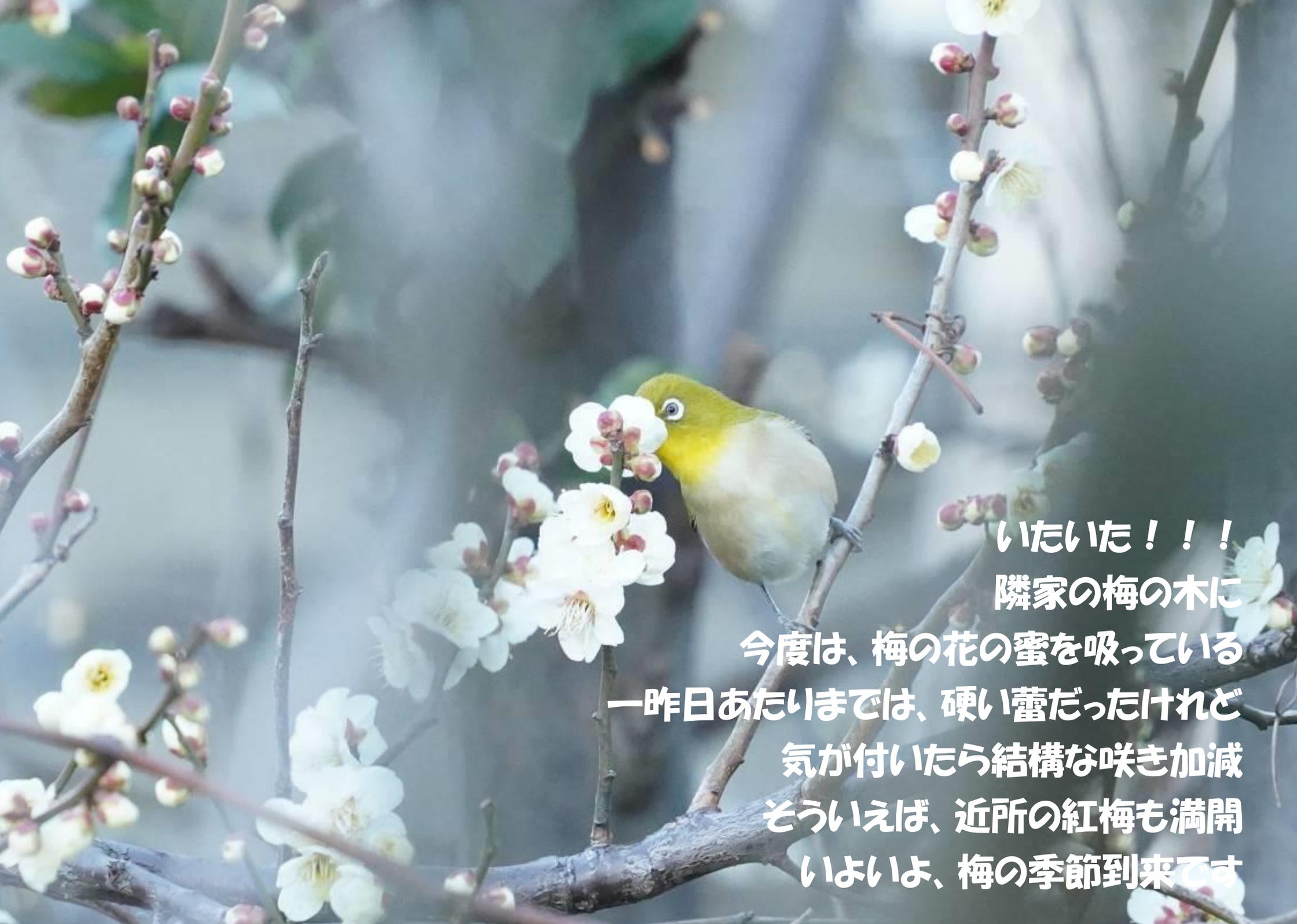
よく見てやってください。
花びらの上に、みぞれのかけらが・・・



風もないのに
椿の枝が揺れています。
メジロが一羽。
ツバキの蜜を吸いに来ていました。
大胆にも、花に頭を突っ込んだり、
逆さまにぶら下がったり、
さすがに、身が軽いですね。



隣に植えている、
「紺侘助」の花の上に止まっている。
枝は、とても細いのですよ。と、
どこかに飛んで行ってしまいました。



いたいた！！！！
隣家の梅の木に
今度は、梅の花の蜜を吸っている
一昨日あたりまでは、硬い蕾だったけれど
気が付いたら結構な咲き加減
そういえば、近所の紅梅も満開
いよいよ、梅の季節到来です



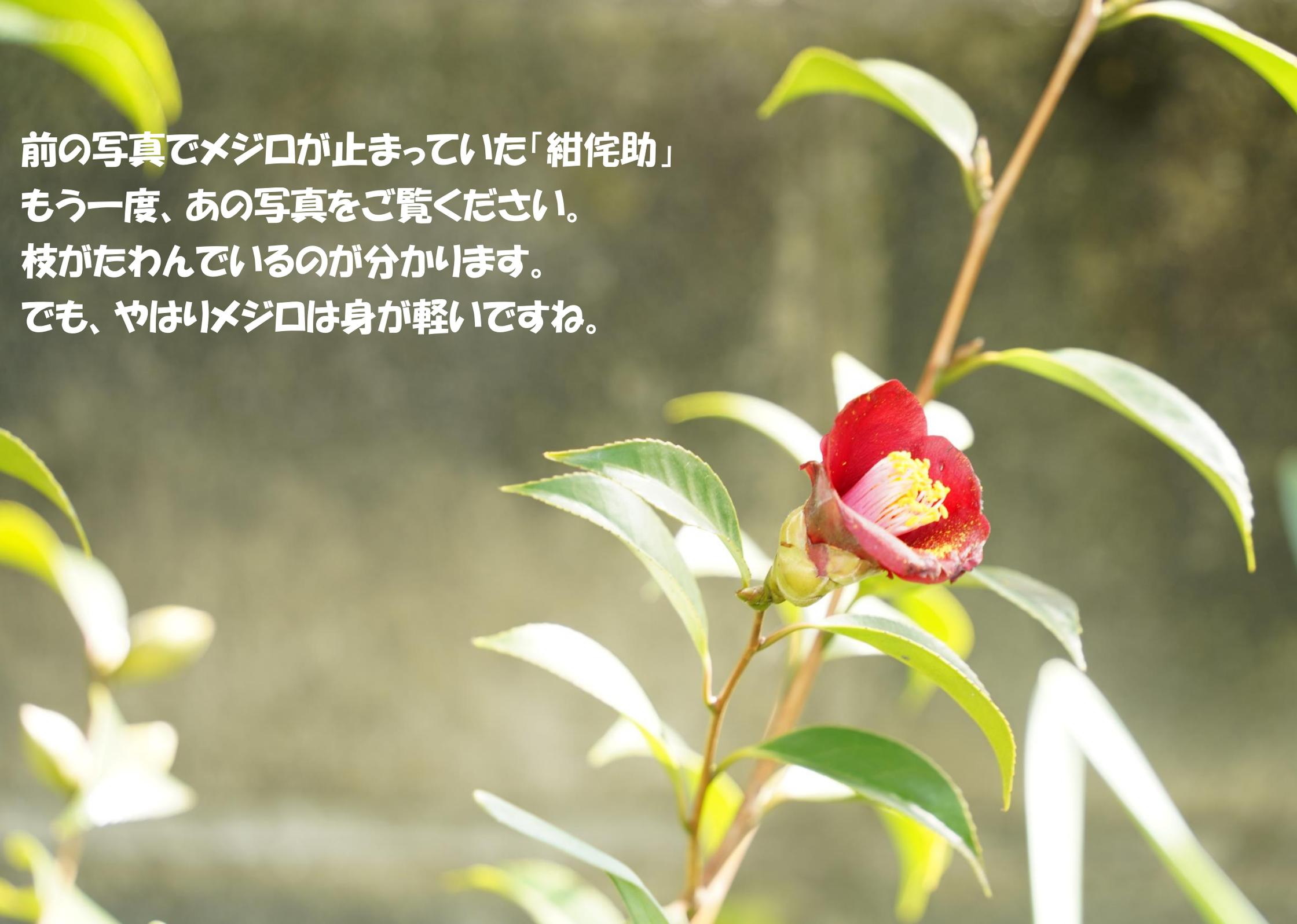
花札に描かれている「梅にウグイス」
実は、メジロの見間違いとか
だから「鶯色」は本当は「メジロ色」



A close-up photograph of two Japanese White-eye birds (Troglodytes aedon) perched on a dark, gnarled branch of a plum tree. The birds have bright yellow-green upperparts and white underparts with a characteristic white eye-ring. The plum tree is in bloom, with numerous small, pale pinkish-white flowers and buds scattered across the branches. The background is a soft, out-of-focus blue sky. The text is overlaid in the bottom right corner of the image.

このメジロ、つがいに来ていました
どちらがオスで、どちらがメスか分かりませんが
暫く2羽で仲良く「お食事タイム」していました

前の写真でメジロが止まっていた「紺侘助」
もう一度、あの写真をご覧ください。
枝がたわんでいるのが分かります。
でも、やはりメジロは身が軽いですね。



右は、紺侘助のつぼみ。

この木は、例年沢山の花を咲かせてくれます。

下の椿は、名前が分かりません。

ヤブツバキのピンクをちょっと濃くした、

一重で肉厚の小ぶいな花が咲きます。

とてもカワイイですよ。



**梅の季節にかぶって、
そろそろ椿の季節でもあります。**

**椿は、種類が多く、
花期が長いので、
ゆっくりと楽しめます。**

**梅と椿、
いいお天気が続くといいですね。**